

学校法人帝京大学 帝京大学産学連携推進センター

紳士用 尿失禁対策パンツ「超・快トランクス」

【従来の課題】

軽度尿失禁に悩む男性の方は、国内におよそ900万人いると推計されています。従来の男性用尿もれ対策パンツは、吸水性の布素材をパンツ本体に縫い込んだタイプが多く、軽度な尿失禁であっても、わきもれ・ベタつき・臭い等の不快感、外出先のトイレでの不便、洗濯の手間などが問題となっていました。

【開発経緯】

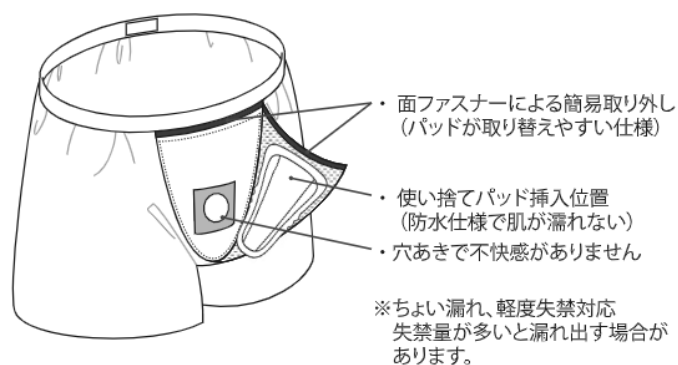
帝京大学医学部泌尿器科学講座の木村将貴病院准教授が、東京都医工連携HUB機構・板橋区主催の医療ニーズ発表会にて、「新しい構造の尿もれ対策パンツを開発し、尿失禁で悩む患者の不満を解消したい」と企業に協力を呼びかけました。相手先を探しつつ特許出願など準備を整え、2019年1月に正式にフットマーク株式会社と共同開発のための契約を締結しました。

COVID-19の感染拡大の影響もあり時間はかかりましたが、陰茎を通す穴の位置やトランクス前部の陰茎を収める空間的スペースなどの調整、防水加工の種類や形が崩れないような布素材の組み合わせなど改良を重ねることにより、見た目だけでなく、肌触り・フィット性といった履き心地においても、一般のトランクスと比べて遜色ないものが出来上がりました。

現在、帝京大学医学部附属病院内の売店にて試験販売を行っており、今後、フットマーク株式会社のオンラインショップをはじめ、全国への展開を予定しています。

【実用化した技術内容と社会的インパクト】

見た目は普通のトランクスと変わらず、前面のフラップ部分をずらすだけで排尿が可能です。また、市販の使い捨てパッド（サイズが小さく薄いタイプのもの）を併用するため、外出先でのパッドの交換も簡単で、洗濯時も手間がかかりません。



また、泌尿器系の手術の後に紙おむつを使うケースもありますが、排尿時の不安から普通の下着に戻せないでいる患者さんに使っただけならば、リハビリと紙おむつ代の節約にもつながります。

そのほか、尿道カテーテルを使う患者さんのカテーテル交換時や、介護の現場でも、寝たままの状態でもトランクス前面のフラップを開けることで対応が可能となり、介護する方・される方、双方の負担軽減にもつながるのではないかと期待しています。

【関連サイト】

東京都医工連携 HUB 機構 成果・実績報告 2021 年

https://ikou-hub.tokyo/file/20210817_footmark_0819.pdf

【お問い合わせ先】

帝京大学 産学連携推進センター

<https://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/tttc>

E-mail tttc@med.teikyo-u.ac.jp TEL 03-3964-1984

フットマーク株式会社 健康快互事業部

<https://www.footmark.co.jp/>

